



平成26年度 草の根・人間の安全保障無償資金協力
「パナマ小児病院内視鏡整備計画」
引渡式

2016年2月16日、パナマ市において、「パナマ小児病院内視鏡整備計画」の引渡式が行われ、磯部大使をはじめ、ミゲル・マジョ保健次官、イサク・アテンシオ・パナマ市長代理、パウル・ガジャルド・ソサ・パナマ小児病院院長、ロランド・ミロルド・パナマ・キワニスクラブ・メトロポリタン副代表他関係者が式典に出席しました。

パナマ小児病院は、全国から患者を受け入れており、年間約9万人の診察が行われています。同病院耳鼻科、消化器科及び呼吸器科で使用されていた内視鏡は、長年の使用によりモニター画質や印刷制度の低下が見受けられ正確な診断の妨げになっていました。そこで、「パナマ・キワニスクラブ・メトロポリタン」は、パナマ小児病院の抱える問題を解決しようと、日本政府に支援を要請し、この度、内視鏡の整備が実現されました。

今回の供与により、内視鏡検査を受ける子供たちに、正確な診断が可能となり、同病院の医療サービスの向上に繋がることを期待しています。

【供与額：102,460.00ドル】



出席者との集合写真



供与された内視鏡